

# 岡山市歯科保健基本計画

## 中間評価報告と今後の方向性

### 概要版

#### 岡山市歯と口腔の健康づくり条例

平成24年9月制定  
平成25年4月施行



#### 計画の基本理念

- 市民の自主的な取組の促進
- 保健・医療等の関連施策の有機的な連携による取組の推進
- ライフステージの特性に応じた取組の推進

#### 計画の期間

平成26年度  
から  
平成34年度

平成29年度  
中間評価

平成30年3月  
岡山市

#### 中間評価の趣旨

岡山市では、全ての市民が生涯を通じて、食事や会話を楽しむことができるよう、歯と口腔の健康づくりに関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、平成25年度に「岡山市歯科保健基本計画」を策定しました。

平成29年度に、4年間の取組と目標の達成状況の中間評価を行い、今後の取組の方向性を明らかにしました。

#### 中間評価の概要と今後の取組の方向性

目標とした22項目のうち、「目標値を達成しているもの」と「改善しているが、目標値を達成していないもの」を合わせると13項目（59%）となり、概ね改善している状況でした。

しかし、課題となる項目もあり、計画の基本理念に基づき、これまでの取組を継続しつつ、今後さらに強化すべき取組は、下記に示す通りです。

##### 1 歯と口の働き（口腔機能）の維持・向上に関する取組

- 高齢期における口腔機能の維持・向上の重要性について、市民に対する啓発を行いつつ、医療関係者の認知度を高めます。
- 歯科医療関係者に対し、口腔機能の評価と治療・指導についての周知をすすめます。
- 「噛ミング30」運動等を通じた口腔機能の重要性に関する普及啓発に取り組みます。

##### 2 障害者（児）、要介護者が歯科治療・指導を受けられる環境の整備

- 介護老人福祉施設・介護老人保健施設等の職員を対象に、口腔ケアの実践的な研修を行います。
- 歯科訪問診療の普及に努めます。
- 障害者（児）に対する診療機会の提供をすすめます。

##### 3 歯周病対策

- 児童・生徒や保護者に対して、歯周病の予防方法の周知を図ります。
- 医科と歯科の連携を図り、糖尿病などの有病者の歯周病治療をすすめます。
- 事業主や従業員に対する歯周病対策の周知・啓発を図ります。

#### お問い合わせ

岡山市保健所健康づくり課

〒700-8546 岡山市北区鹿田町一丁目1-1

TEL：086-803-1264

FAX：086-803-1758



# 目標

# 全国に誇る、傑出した安心を築く「健康福祉・環境都市」



生涯を通じて、食事や会話を楽しむことができる

## 重点的歯科口腔保健対策

歯と口の働き（口腔機能）の健全な育成、機能の維持・向上

障害者（児）、要介護者の口腔の健康の保持・増進への取組

## 推進の方向性

ライフステージに応じた歯科口腔保健対策の推進

歯と口腔の健康づくりを支え、守るための環境づくりの推進

### (1) 歯と口の働き（口腔機能）の健全な育成、機能の維持・向上

食べる喜び、話す楽しみを持ち続けるために、子どもの頃から「噛み飲み込むこと」を重点にした取組を進めます。

目標項目	計画策定時 (平成23年度)	中間評価時 (平成29年度)	評価	目標 (平成34年度)
中学生で歯列・咬合・顎関節に異常のない者の割合の増加	97.0%	96.8% (平成28年度)	悪化	増加
「噛ミング30」運動の主旨を理解し、推進に取り組む学校園・保育所・事業所等の増加	保育園・幼稚園 4.3% 学校 16.2% 事業所等 0%	保育園・幼稚園等 13.9% 学校 36.4% 事業所等 0%	改善	50%
60歳代における口腔機能の低下が認められない者の割合の増加 (65～69歳 基本チェックリスト3項目のいずれにも該当しない人)	68.3% (平成22年度)	54.1% (平成28年度)	悪化	80%
摂食機能療法を行う歯科医療機関の増加	50件 (平成25年10月現在)	45件 (平成29年10月現在)	悪化	増加

30回噛んで食べよう！



### (2) 障害者（児）、要介護者の口腔の健康の保持・増進への取組

障害者（児）や要介護者の歯と口腔の健康は、単に口の中だけでなく、発熱や肺炎等全身の健康へも影響を及ぼすため、生涯を通じた日ごろからの口腔のケアが重要です。

目標項目	計画策定時 (平成23年度)	中間評価時 (平成29年度)	評価	目標 (平成34年度)
障害者（児）入所施設での定期的な歯科検診の実施率の増加	80.0%	93.3%	改善	100%
介護老人福祉施設・介護老人保健施設等での定期的な歯科検診の実施率の増加	28.1%	50.0%	改善	100%
歯科訪問診療を行う歯科医療機関の増加	219件 (平成25年10月現在)	215件 (平成29年10月現在)	悪化	300件
バリアフリー（スロープ・手すり）の歯科医療機関の増加	230件 (平成25年10月現在)	218件 (平成29年10月現在)	悪化	300件



自宅や施設での歯科検診や訪問歯科診療、口腔ケア



### (1) ライフステージに応じた歯科口腔保健対策の推進

**乳幼児期** 口全体を使って、きちんと食べることができるようになるための健全な歯と口腔の育成を目指します。

目標項目	計画策定時 (平成23年度)	中間評価時 (平成29年度)	評価	目標 (平成34年度)
3歳児でむし歯のない幼児の割合の増加	78.1%	81.0%	改善	90%
3歳児で定期的にフッ素塗布を受けている幼児の割合の増加	57.6%	63.7% (平成28年度)	改善	70%
フッ素洗口を実施している幼稚園・保育所の増加	9 幼稚園 6 保育園	9 幼稚園 9 保育園 2 認定こども園 (平成28年度)	改善	増加



**学齢期** 健全な歯と口腔の育成と自分の口の健康を守るための生活習慣を身につけることを目指します。

目標項目	計画策定時 (平成23年度)	中間評価時 (平成29年度)	評価	目標 (平成34年度)
中学生における歯肉に炎症所見を有する者の減少 (G、GOの合計)	20.3% (平成26年度)	21.1% (平成28年度)	悪化	減少
12歳児の一人平均むし歯数の減少	0.72本	0.54本 (平成28年度)	改善	0.3本
フッ素洗口を実施している学校の増加	10 小学校	8 小学校 (平成28年度)	悪化	増加

### 成人期・妊娠期

口の健康を守るための生活習慣を身につけることを目指します。

子育て世代では、自分自身の口の健康と生まれてくる子どもの歯と口腔の健康を守るための知識を身につけることを目指します。

目標項目	計画策定時 (平成23年度)	中間評価時 (平成29年度)	評価	目標 (平成34年度)
過去1年間に歯科検診を受診した人の増加	29.5%	45.1%	改善	65%
成人の喫煙率の低下（喫煙をやめた人がやめる）	18.1%	14.7%	改善	8%
40歳で喪失歯のない人の増加（35～44歳）	72.7%	78.0%	改善	80%
歯周病を有する人の割合の減少（40歳代における進行した歯周炎を有する人の減少（40、45歳））	48.1% (平成21～23年度)	51.5% (平成26～28年度)	悪化	25%
60歳で24本以上の自分の歯を有する人の増加（55～64歳）	64.6%	76.9%	達成	70%→80%

**高齢期** 食事や会話に不自由なく過ごせることを目指します。

**要介護者** 介護者や本人が歯や口腔のことで困らずに、安全に食べられ、会話を楽しむ生活ができることを目指します。

### (2) 歯と口腔の健康づくりを支え、守るための環境づくりの推進

市、市民、保健・医療・福祉・教育等関係者、歯科医療従事者、事業主のそれぞれが情報を共有し、お互いに必要な知識を持ち、連携・協力して歯科口腔保健を推進することができるよう環境整備を行ってまいります。

目標項目	計画策定時 (平成23年度)	中間評価時 (平成29年度)	評価	目標 (平成34年度)
職場で歯科検診を行っている事業所の増加	1.3%	3.2%	改善	15%